



## リハビリテーション科のご紹介

リハビリテーション科専門部長 加藤 貴行

リハビリテーション科は、常勤医師 3 名、後期研修医 1 名、理学療法士 19 名、作業療法士 5 名、言語聴覚士 3 名の体制です。令和 7 年度(2025 年度)には新卒療法士 4 名が入職し、若い力も加わって一層活気あるチームで日々診療に取り組んでおります。

高齢者急性期病院として、主に入院患者様を対象に、早期から切れ目のないリハビリテーションを実施しています。対応疾患は多岐にわたり、以下のような症例に対応しています。脳卒中による片麻痺・構音障害・嚥下障害等に対し、ストロークケアユニット(SCU)入院時から積極的なリハビリテーションを実施します。整形外科的治療(骨折・手術など)後のリハビリテーションも数多く実施しています。入院治療(手術・内科的加療)に伴う安静や臥床による廃用症候群に対し、早期離床と ADL の改善を目指した介入を行います。必要に応じて、集中治療室(ICU)でも重症症例のリハビリテーションを導入します。患者さまが一日も早く在宅復帰できることを目標にリハビリテーションに取り組んでおります。また、回復期リハビリテーションが必要と判断された場合は、適切な時期に転院をお願いしています。外来通院リハビリテーションは実施しておりませんが、脳卒中後遺症による痙縮や痙性斜頸、成人脳性麻痺を主な対象とした「ボツリヌス外来」や、装具の適合や作製を検討する「装具診」、「高齢者いきいき外来(次頁で紹介)」といった専門外来も開設しておりますので、御紹介いただければ幸いです。今後とも、急性期から回復期・在宅への切れ目のないリハビリテーションの提供を目指し、地域医療の一翼を担ってまいりたいと存じます。



## 高齢者いきいき外来のご紹介

リハビリテーション科では、軽度認知障害（MCI）を対象とした「高齢者いきいき外来」を開設しています。物忘れや生活の変化が気になるものの、専門外来を受診するまでではないという方に対して、MCIの早期発見と認知機能や生活機能の維持・改善を目的に、生活指導や必要な治療を行います。初診時に、神経内科専門医による神経学的診察と、臨床心理士によるMMSE、MoCA、リバーミード行動記憶検査（RBMT）などを実施し、MCIに該当するかどうか判断します。MCIの原因疾患を調べるため、必要に応じて頭部MRIや脳血流SPECT、DAT Scan、MIBG心筋シンチなどを計画します。従来は認知トレーニングなどの介入も行っていたますが、現在は診断と生活指導に注力しています。軽度の物忘れについて、調べてほしいと希望される患者様がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

## 在宅看護相談室

在宅看護相談室は患者さま、ご家族が安心して医療を受け、住み慣れた地域で過ごせるよう支援を行っている部署であり、現在は看護師3名が所属しています。

入院前の生活や介護保険サービスの利用状況、今後どのように過ごしていきたいか等をお聞きし、退院後の安全な生活環境や医療体制を整えていきます。退院がゴールではなく、退院後に自分らしい生活を再スタートできるように病棟、外来、地域と連携しながら支援し、患者さまやご家族の希望に寄り添いながら仕事に取り組んでいます。

安心して穏やかな時間を自宅で過ごせるように精一杯サポートしますのでいつでもご相談ください。



外来医師配置表はこちらよりご確認ください。

## 各種問い合わせ



- 医療連携係（直通） ☎ 03-3579-6963（平日 9:00～17:00）
- 予約センター ☎ 03-3964-4890（平日 9:00～17:00）
- 緊急受診・緊急入院のご相談 ☎ 03-3964-1141  
※「緊急受診（入院）の依頼です。〇〇科の連携当番医につないでください」とお話しください。
- 脳卒中ホットライン ☎ 080-4116-1141【医師直通】  
※脳卒中の発症が疑われる場合にご活用下さい。
- 循環器ホットライン ☎ 03-3962-8325【医師直通】  
※急性冠症候群、弁膜症、心不全、不整脈、大動脈瘤、大動脈解離、急性動脈閉塞など緊急対応が必要な時、その他お困りの時は、いつでもご連絡下さい。
- 急性腹症外科ホットライン ☎ 03-3964-3260（平日 9:00～17:00）【医師直通】  
※令和7年4月21日より電話番号変更  
※虫垂炎、胆嚢炎、消化管穿孔、ヘルニア嵌頓、絞扼性腸閉塞などを疑う急な腹痛。診断がついていない状態でも構いません。